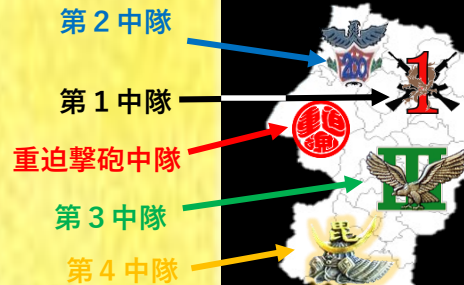


連隊長要望事項

「情熱と執念」



隊区担当中隊



「令和7年度第4次連隊野営」を実施



防御戦闘 (第2中隊)



統裁官 (連隊長に対する受閲準備完了報告)



対抗部隊 (第3中隊)



防御戦闘 (第2中隊)



隊容検査



防御陣地の構築 (第2中隊)



障害構築 (第2中隊)



障害構築 (第2中隊)



敵情を警戒する隊員 (第2中隊)



60km徒步行進 (第4中隊)



行進前の四周警戒 (本部管理中隊)

10月14日(火)から18日(土)までの間、王城寺原演習場(宮城県)において令和7年度第4次連隊野営を実施し、第2中隊は訓練検閲(防御)を受閲、連隊本部・各中隊は徒步行進訓練(60km)を通じ、徒步行進能力の練度向上を図った。訓練間、寒暖差が激しく悪天候にも見舞われる厳しい環境下であったが、部隊の基本的行動(敵を意識した戦闘行動、指揮の継承)及び新領域(ドローン・電磁波・衛星)への対応を含む基本基礎動作の練度を向上させ、隊員一人一人が全力を尽くしそれぞれの任務を完遂した。



オートバイの説明をする隊員 (河北町総合防災訓練)



倒壊家屋からの救助訓練 (村山市総合防災訓練)



レスキュー隊との情報共有 (村山市総合防災訓練)



レスキュー隊との情報共有 (北海道東北ブロック合同訓練)

県内各地の防災訓練に参加

Table with 4 columns: Date, Training Name, Implementation Location, and Participating Battalion. It lists various disaster drills from October 5th to 25th across different locations like Yamagata and Hokkaido.

10月5日(日)から25日(土)の間、県内各地において防災訓練が実施され、防災関係機関、自治体、自衛隊、消防、警察における情報共有及び災害対応の連携要領を演練した。(別表) 訓練では、災害発生時の初動対応、情報伝達訓練、人命救助訓練を演練したほか装備品展示をおこなった。



# 「令和7年度秋季演習場統一整備」に参加



永遠と続く草運び



防火帯整備



安全第一に！目を光らせる安全係



樹木の伐採



急斜面も整備



準備運動



連隊長現地指導

## 感謝！

### 整備隊を飯で支える連隊炊事班

第3中隊 阿部士長より一言



早朝の炊事（午前3時）

連隊の皆さん、秋季統一整備大変お疲れさまでした。私も作業の前、中、後に食べる温食はいつも楽しみにしています。今回は炊事班としてご飯を作る側でしたが整備隊の皆さんのお氣持がわかりますので心を込めて調理することができました。炊事班は朝3時頃から作り始めますが、眠さにも負けず、調理に全力を尽くしている連隊炊事班がいることを忘れないでください。お味はいかがでしたか？

9月30日（火）から10月5日（日）までの間、白河布引山演習場（福島県）にて第6師団が担任する「令和7年度秋季演習場統一整備」に連隊整備隊長（連隊長 南條1佐）以下約200名が参加し、演習場の機能維持・向上のための整備を行った。

30日（火）から連隊の担任区分である「廠舎地区周辺」、「既設道路」及び「弾着地防火帯」の整備（除草・側溝整備・溜樹等の補修・伐開樹の運搬）を開始した。整備期間、残暑や悪天候にも見舞われたが、整備小隊又は作業区分の長の適確な指揮のもと、隊員たちは安全管理の徹底と、着実な作業により1件の事故もなく任務を遂行することができた。

# 令和7年度「山形県自衛隊殉職隊員追悼式」に参加



儀じょう隊長を務めた第4中隊 竹村3尉



厳正な儀じょうを実施



弔銃

厳肅かつめやかに

10月18日（土）、駐屯地体育館において「令和7年度山形県自衛隊殉職隊員追悼式」が第6師団長（若松陸将）執行のもと、厳肅かつめやかに執り行われた。

神町駐屯地では、警察予備隊発足以来の山形県の陸上、海上、航空自衛隊殉職隊員の御霊を追悼するため、昭和48年に自衛隊創立23周年記念事業として開始され、毎年継続して追悼式を実施している。

連隊で編成された儀じょう隊（隊長 第4中隊 竹村3尉）による、鎮魂の「弔銃」が響き渡り、殉職隊員の在りし日に想いを寄せた。



連隊長表彰



申告 油井 1 士



後期教育隊全員で記念撮影

# 「令和7年度新隊員特技課程及び第23期一般陸曹候補生課程後期教育修了式」を実施

9月26日(金)、B庁舎において「令和7年度新隊員特技課程及び第23期陸曹候補生課程後期教育修了式」(執行者 連隊長 南條一佐)を実施した。

式には教育を修了した軽火器区隊、迫撃砲区隊の15名が参加し、最先任上級曹長、各幕僚、各中隊長、各中隊先任上級曹長が陪列した。3カ月の教育を終えた新隊員たちは自信に満ち溢れた表情で、「中隊配属後は教育で学んだことを実践し、いち早く戦力になれるよう頑張ります。」と決意を新にした。

**班長より**

新隊員教育お疲れ様 仲間との絆を大切に、どんな時も前向きな気持ちを持って。苦しい訓練の先には必ず成長があります。一人ひとりの努力が部隊の力です。共に助け合い、立派な自衛官を目指して頑張れ!

第1中隊 栗野 3 曹

**教育を終えて**

新隊員教育で学んだ基礎と団結の大切さを胸に、これからは一人の自衛官として責任を持ち、任務に全力で取り組みます。初心を忘れず、常に向上心を持って精進いたします。

迫撃砲区隊 芦野 2 士

- 表彰**
- 連隊長賞 軽火器区隊 油井 2 士
  - 連隊長賞 迫撃砲区隊 伊藤 2 士
  - 体力賞 軽火器区隊 芦野 2 士

# 「第149期・第109期陸曹候補生選抜2次試験」を実施



口述試験



共通体力検定(3000m走)



術科試験(戦闘教練)

**各種表彰**

【第2陸曹教育隊普通科教育中隊長より褒賞状】  
(第147期陸曹候補生課程の助教として参加し、誠実かつ積極的に職務に精励した功績)

- 第1中隊 3等陸曹 八嶽 大樹

【神町駐屯地業務隊長より褒賞状】

(駐屯地業務隊司令職務室広報班広報陸曹として臨時勤務し、旺盛な責任感と駐屯地広報の重要性を深く認識し積極的に職務を遂行した功績)

- 第3中隊 3等陸曹 小山一朗太



体力検定2型(重量物運搬)

10月8日(水)から10月10日(金)までの間、「第149期陸曹候補生選抜2次試験」が実施され、筆記試験に合格した20名の隊員が受験した。

8日、9日に口述試験及び今回より戦闘教練が術科試験に採用され、試験が行われた。10日には体力検定(3000m走)及び腕立て伏せ・腹筋)及び戦術等に直結する体力検定(重量物の卸す運搬)及び積載・短距離疾走・超壕)の計6種目が実施された。

受験者たちは日々の練習の成果を十分に発揮し、「陸曹候補生の指定」を目標とし、全力で試験に取り組んでいた。

## 上郷フェスティバル

# 県内各地PCO広報展に支援



隊員と記念撮影



装備品を説明する隊員



記念撮影に快く応じる隊員



山形大学ハルマ祭

実施日	イベント名	支援人員	展示内容
10月5日(日)	村山駅西秋まつり	第1中隊 3名	軽装甲機動車・オートバイ
10月11日(土)	尾花沢もっとうるだし未来まつり	第1中隊 2名	高機動車・オートバイ
10月12日(日)	けやきの森のおまつり2025(上市市)	第3中隊 3名	高機動車 オートバイ
10月18日(土)	かわにし産業フェア	第4中隊 2名	軽装甲機動車 人命救助セットII型
10月25日(土)	イオン米沢店感謝祭	第4中隊 3名	軽装甲機動車 オートバイ
10月26日(日)	上郷フェスティバル(米沢市)	第4中隊 2名	軽装甲機動車
10月24日(金)~ 10月26日(日)	山形大学ハルマ祭	本部管理中隊3名 第4中隊 2名	11/2トラック・軽装甲機動車 高機動車・オートバイ

10月5日(日)から10月26日(日)の間、県内各地で実施されたイベントにおいて自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ車両展示により支援(別表)した。

イベント当日は、いづれも多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。支援した隊員たちは、記念撮影の依頼に快く応じたり、寄せられた質問に対し、刺と受け答えを行うなど、来場者との交流により、自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の発信を図ることができた。